

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/03/14

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.30	0.19
JPY/THB	0.2838	-0.0013
USD/JPY	117.29	1.15
EUR/THB	36.34	-0.05
EUR/USD	1.0912	-0.0074
USD/CNH	6.358	0.031
SGD/THB	24.44	0.08
AUD/THB	24.28	-0.09
USD/INR	76.59	0.29
USD Index	99.12	0.62

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.424	-0.021
10Y (THB)	2.290	0.016
5Y (USD)	1.946	0.023
10Y (USD)	1.992	0.005

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,985.0	-15.4
WTI (Oil)	109.33	3.31
Copper	10,183.5	66.5

Stock

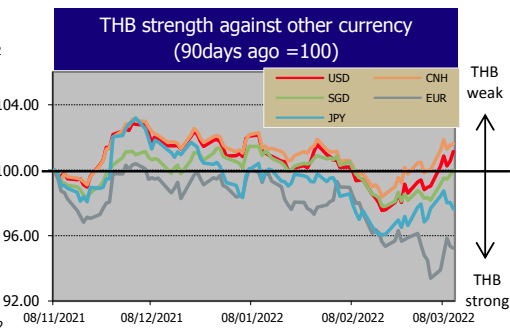
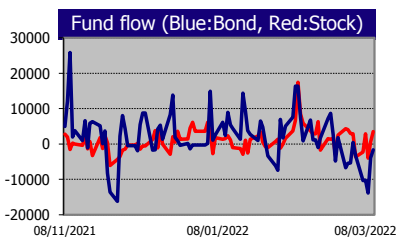
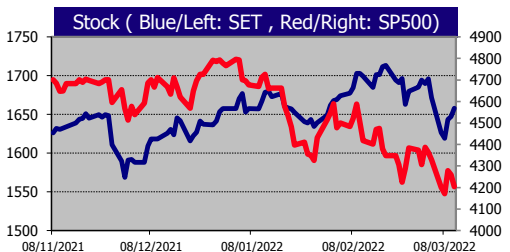
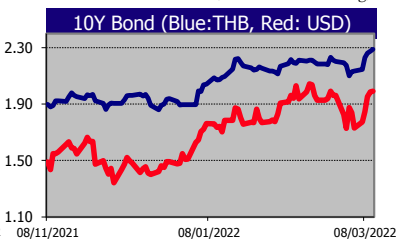
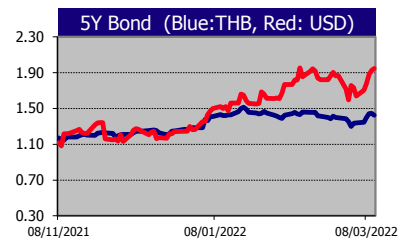
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,658.01	10.93
NIKKEI (JP)	25,162.78	-527.62
DOW (US)	32,944.19	-229.88
S&P500 (US)	4,204.31	-55.21
SHCOMP (CN)	3,309.75	13.65
DAX(GER)	13,628.11	186.01

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	3,484	2859.4
Bond net flow	(1,695)	2245.2

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルバツ

11日のドルバツは33バツ前半で取引開始。前日のウクライナとロシア外相会談に進展がなく失望感が広まったことや、物価上昇による経済回復の遅れが懸念される状況にドルバツは前日安値から1%程度上昇。海外時間、週末を前に一時調整が入ったが、米シグナル大消費者マインドで1年先の期待インフレ率が高まりが約41年ぶりの水準へ上昇したことや米金利の上昇がドル買いを強め、33.30で終えた。

●ドル円その他

11日のドル円は東京時間116円前半で取引開始。前日の米2月CPIが予想を上回り、物価上昇を嫌気して日経平均は軟調に推移したが、米債利回りが上昇基調となり、クロス円の円売りも重なってドル円は夕刻に117円手前まで上昇。海外時間、ウクライナとロシア間の協議に進展ありとプーチン大統領が発言して一気にリスクオンとなり、117円前半へ上昇。その後、ウクライナ外相からプーチン大統領の発言を否定するコメントが出たが、ドル円は底堅く、117.29レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

先週は米2月CPIが発表され予想通りの結果となるも、その上昇率は前年比+7.9%と約40年ぶりの強さとなりました。家賃や航空運賃、ホテル宿泊費が上昇を牽引しています。また、米シグナル大消費者信頼感指数で確認された1年先期待インフレも1981年以来の高水準を記録、こうした結果を受けて米10年債は再び2%台で推移しており、ウクライナ危機で落ち着いていた米金利上昇が再開した印象です。ウクライナ危機がなかりせば、物価上昇抑制のためにFRBは3月FOMCにて50bpの利上げに踏み切っていたのではないのでしょうか。今後も地政学リスクの高まりに伴う供給サイドの制約が物価上昇を加速させる要因になりうるほか、エネルギーや食品価格の上昇も当然に大きなインパクトを与えますので、今週のFOMCではウクライナ情勢の長期化も念頭に入れてどのような方向感が見られるのか、発表の内容次第で市場への影響も大きくなるのではないかと思います。(鈴木)